

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

アキマドボタル

アキマドボタルは日本では対馬だけに生息するホタルです。対馬のほかには中国、朝鮮半島、済州島にも分布しています。対馬では全島各地に確認されています。成虫が光りながら飛び姿が見られるのは9月から10月ごろで、そのためにアキマドボタルという名が付けられました。雄は飛びますが雌は翅が退化しているので飛べず、地上を歩きます。雌雄ともに明るく点滅し、季節になると美しい光景を目にすることが出来ます。川や沢がある山の麓や畑、田、川べりに主にいますが、町の中でも見つけることができます。幼虫は4月に孵化し、夏と冬を越え、

2年目の秋に成虫となります。陸生で陸産の貝類を食べるとされています。昭和41年5月26日には厳原町の阿須川が生息地として県の天然記念物に指定され、平成20年3月31日にはアキマドボタルが市の天然記念物に指定されています。対馬のいろいろな場所であきまの美しい自然が豊かに残っているからこそです。

私たちの先祖は海や山、川などの自然を大切に守り、共存してきました。その歴史こそが対馬の文化そのものと言っていいでしょう。先祖の思いを裏切ることに無いように、いつまでもアキマドボタルが舞う景色を子や孫に伝えていきましよう。



*最近、阿須川に生活ゴミが大量に捨てられています。お互いに気をつけて環境をきれいに保ちましよう。

参考文献 浦田明夫
1984「対馬のホタル」
『対馬の自然と文化第12集』
対馬の自然と文化を守る会

つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

2月のおはなし会

2月20日(土)

午後2時から午後3時まで

読み聞かせとマジックなど...

1月15日～2月14日までの
休館日のお知らせ

1月

18日(月)・21日(木)
25日(月)

2月

1日(月)・8日(月)
11日(木)・15日(月)

1月に入った本の紹介!

『ザ・コールドスト・ウィンター 朝鮮戦争上・下』

デイヴィッド・ハルバースタム / 著

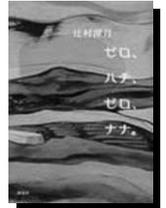
戦争はクリスマスまでに終わる。マッカーサーの言葉に米兵たちは浮足だった。しかし毛沢東は大軍を朝鮮半島に潜入させて、軽装の国連軍を待ち受けていた…。10年の歳月をかけて取材執筆した朝鮮戦争の記録。



『ゼロ、八チ、ゼロ、ナナ』

辻村 深月 / 著

「30歳」という岐路の年齢に立つ、幼馴染だったみずほとチエミ。みずほは都会でフリーライターとして活躍しながら結婚し、チエミは未婚で地元企業で契約社員として勤めている。互いに人生が「殺人事件」で重なり合う…。



『引き出しの中のラブレター』

新堂 冬樹 / 著

ラジオパーソナリティの真生のもとへ届いた、一通の手紙。それは絶縁し、仲直りする前に他界した父が彼女に宛てて書いた手紙だった…。2009年10月公開映画のノベライズ。



『深海のフシギな生きもの』

藤倉 克則 / 著

漆黒の深海で7色に輝くテマリクラゲ、暗黒で光を求め続け目が双眼鏡のようになったクロデメニギス…。かわいけれど恐くて、奇妙だけど華麗な、深海のフシギな生きものを紹介。

